

里山農園周辺環境整備事業

特定非営利活動法人 やましる里山の会

活動場所 京都府京田辺市水取
所在地 京都府京田辺市田辺深田 15
設立年 1996 年
会員数 20 名
連絡先 0774-64-4183、fddb257@ybb.ne.jp
HP 

環境や地域への貢献

京田辺市普賢寺地区の里山農園では、昔食器洗いに利用できる磨き砂が生産され地域の活動資源に充てられていましたが、いまでは放棄され雑木が生い茂り無残な姿になっています。またナラ枯れの木が大量に発生し、野菜栽培、昆虫観察などの活動の危険度が高くなっています。森林保全や苗木の植樹を行い、今後もまちづくりに継続して貢献していきたいと考えています。

助成金が活きたと思う点

森林保全の整備作業に必要な機材として薪割り機が購入でき、活動を継続することができました。また整備作業に必要な林業の知識や、専門家の方より指導を受けることができ、たいへん役立ちました。



京都縦貫自動車道西代防災基地の緑化活動

乙訓の自然を守る会

活動場所 京都府長岡京市、向日市、大山崎町、京都市西京区
所在地 京都府 長岡京市天神 3-14-5 宮崎俊一方
設立年 1983 年
会員数 400 名
連絡先 T&F: 075-954-1429、090-7346-3059
HP  Facebook 

夏原グラントで実施した事業の紹介

ネクスコは 2014 年に京都縦貫自動車道を供用開始しましたが、西代防災基地の法面（約 400 m）は低木植栽としていました。そこで当会が、カブトムシの森の高木植栽を提案しました。ネクスコは「一部、ヘリの航路を外して高木植栽を了解する」とし、2016 年に協定を結びました。

当会は「ネクスコ法面にカブトムシの森をつくるグループ（12 名）」を結成し、2017 年 4 月から、当会育成のクヌギ苗など 45 本と購入したカエデ苗など 15 本、計 50 本を植え、さらに防獣ネットを設置しました。高木になるまで見届けるのは青年の役割であり、青年に期待しています。

環境や地域への貢献

基地法面に高木が育てば、カブトムシをはじめ多様な生物が育ち、隣接する長岡京市西代里山公園で遊ぶ子どもたちに自然の楽しさを提供できます。また緑の多い基地は背景の西山にふさわしい景観となります。

助成金が活きたと思う点

苗の一部と防獣ネット、植栽道具の購入、また学習会講師料には夏原グラントの助成金を使わせていただきました。ありがとうございました。



竹の魅力発信基地の創設

特定非営利活動法人 加茂女

活動場所 京都府木津川市内
所在地 京都府木津川市南加茂台 4 丁目 16 番 9
設立年 1988 年（法人化は 2010 年 10 月）
会員数 正会員 27 人（活動会員は他に 61 人）
連絡先 T & F: 0774-66-1895、info@npo-kamome.com
HP  Facebook 

夏原グラントで実施した事業の紹介

竹林の美しさや竹の魅力を知って頂くために筍狩りや流しソーメンキット作り等 6 つのイベントに取り組みました。次世代を担う子供たちにその魅力を伝えることが重要と考えています。また竹を循環させる仕組み作りを考えて、竹のチップで災害用や高齢者用の室内トイレを制作して使用後の尿入り竹チップを畑で肥料に使う方法の実験をしました。

環境や地域への貢献

竹林整備の面積も更に 4ha 増やしました。竹や筍も地産地消が必要だと考えています。竹の消臭効果と発酵力を活用して室内用のトイレを制作し、その後 2 週間畑に投入が可能になることから自然に優しい農業としても定着可能と考えています。この件につきましては、市役所を通じて高齢者施設などに実施実験をご協力していただけたようになりました。地域とも連携ができたこと喜んでおります。

助成金が活きたと思う点

竹林整備は現在の所では、お金を生み出せるところまでいけていませんので、様々な取り組みができたのは助成金のお蔭でした。



大谷川周辺に生息する オオサンショウウオの生態系保全活動 古橋のオオサンショウウオを守る会

活動場所 滋賀県長浜市木之本町古橋
 所在地 滋賀県長浜市余呉町下余呉 950
 設立年 2014年4月
 会員数 約10名
 連絡先 〒529-0521 滋賀県長浜市余呉町下余呉 950
 TEL:0749-86-2347・090-5062-2206、
 FAX:0749-86-2152、murakami.nobuo2016@gmail.com



夏原グラントで実施した事業の紹介

助成をいただいて2年が経過しました。今まで木之本町古橋の大谷川のオオサンショウウオの保全の重要性についての啓発活動に力を入れてきましたが、昨年度からは本格的な夜間調査を開始しました。年間7回の調査で延べ26個体が確認でき、その中の11個体が新発見で幼生も確認できました。この川には100個体以上が生息していると推定でき、雑種でないこともわかり、保護の重要性がますます高まってきました。「大谷川の生き物調査」や「生態系保全シンポジウム」は、多くの関係者の協力で毎年無事に開催でき、大きな成果が得られました。

環境や地域への貢献

県の協力で、村の中の4つの落差工(堰堤)はオオサンショウウオにやさしい魚道に改修されました。また地元の人々の関心も高まり、昨年は15個体のオオサンショウウオを保護することができました。関係者のご尽力で、2018年の10月6日(土)~7日(日)に「全国オオサンショウウオの会」の全国大会を長浜市で開催することが決定しました。約400名規模の大会にしようと、長浜市歴史遺産課を中心とした準備が進められてきました。また滋賀県内全体のオオサンショウウオの調査研究の必要性も高まり、「滋賀のオオサンショウウオを守る会」も発足しました。

竹生島タブノキ保全プロジェクト

びわ地域づくり協議会

活動場所 滋賀県長浜市旧びわ町
 所在地 滋賀県長浜市難波町 448
 設立年 2007年
 会員数 70名

夏原グラントで実施した事業の紹介

植栽をして2年が経ち年に数回下草刈りをする事で、80cmの大きさの苗も今は200cmの大きさに育ちました。11月には地元の小学生40名とボランティア30名が、竹生島のタブノキの芽生え苗と種の採取に行き、1人5鉢を持ち帰り育苗し、はげ山と化した島に緑を取り戻す活動を実施しました。100年先に竹生島に緑を取り戻すことを地元の小学生と大人と一緒に行動することで地域の活性化に繋がり、地域の宝をみんなで守ることができます。

環境や地域への貢献

小学生の事前学習で竹生島のことと、環境問題も提起できました。島に行くことでタブノキ実態と保全活動に取り組み、ボランティアが参加することにより地域全体で環境問題に取り組みました。

助成金が活きたと思う点

この事業にかかる費用の大半は竹生島に行く乗船費用であり、また継続して事業を行うためにはスコップや移植ゴテ等の機材も必要です。また芽生え苗や採集した種の育苗圃場や環境を整えるための設備も必要となり、長浜市から地域づくり協議会への補助金は他のびわ地域活性化事業にも必要となるので、平和堂財団の助成がなければとうていできない事業です。



北近江びわこ見守り隊

湖国ひとまちネット

活動場所 滋賀県長浜市公園町 「豊公園一帯」
 所在地 滋賀県長浜市口分田町 449-8
 設立年 2010年12月
 会員数 53人 (2017年4月現在)
 連絡先 090-9097-6375、HP 

夏原グラントで実施した事業の紹介

いきいき体験講座として、湖国の環境を美しく、ボランティア活動の輪を広げようというテーマで、特別講演として、阿部圭宏さんをお願いしました。また、豊公園での現地研修を実施し、たくさんの参加者を得ました。

環境や地域への貢献

当会の活動は、豊公園砂浜一帯や公園全体の景観形成に市と協力しながら環境美化、保全事業に着手し、市民の関心も広がっています。それに伴いボランティア会員も増加して、独立したボランティア団体として、近い将来自立していただき琵琶湖周辺の美化保全活動の輪を広げたいと考えています。

助成金が活きたと思う点

2010年12月に「湖国ひとまちネット」を立ち上げましたが、市や平和堂財団のご支援により継続できたことに感謝しています。財源・場所の課題がありますが、貴財団の継続した支援により、会の継続した活動に感謝申し上げます。



Re 梵 (リボン) 大作戦

～梵釈寺から始まる里山の再生～

特定非営利活動法人 **里山保全活動団体 遊林会**

活動場所 滋賀県東近江市
所在地 滋賀県東近江市建部北町 531
河辺いきもの森ネイチャーセンター
設立年 1998年
会員数 会員 42人 ボランティア会員 60人
連絡先 0748-20-5211、ikimono@e-omi.ne.jp HP  Facebook 



夏原グラントで実施した事業の紹介

里山の手入れができなくて困っている地域と里山保全 NPO である遊林会とが連携することで、本来の豊かな自然を取り戻します。

環境や地域への貢献

森を暗くしている常緑樹を伐り、生物多様性の回復をめざしています。また、里山の整備が進むことで、森の散策ができるようになりました。それにより禅体験や婚活イベント、子どもの自然体験イベントや近くの小学校 4 年生の授業など様々な利用がありました。里山の保全が、地域の森に再び笑い声を取り戻すきっかけとなっています。

助成金が活きたと思う点

道から見える位置に薪棚を作成したり、参加者募集のチラシを、地元蒲生岡本のガリ版伝承館の方を通じ、ガリ版刷りで刷っていただきました。より多くの人に興味を持ってもらえるような形で活動の周知ができました。

また1年目の助成で薪割り機を購入、2年目の助成で軽トラをリースさせていただきました。これにより薪割り機を他団体へ貸し出すことが容易となり、利用もありました。ご利用希望の方は、遊林会までご連絡ください。お待ちしております。

家棟川の生態回廊の再生

—ピワマスの遡上する川をつくる

特定非営利活動法人 **家棟川流域観光船**

活動場所 滋賀県野洲市の家棟川・童子川・中ノ池川
所在地 520 - 0202 滋賀県野洲市菖蒲 262 番地
設立年 2007年4月10日
会員数 47名
連絡先 077-589-5215
HP 



夏原グラントで実施した事業の紹介

事業実施2年目として、特に本格仮設魚道の設置とピワマスの産卵床の造成に注力しました。専門家の指導の下、鉄骨造りの本格魚道を落差工に設置しましたが、ピワマスの遡上は確認できませんでした。しかし、産卵床を5か所に増やしたこともあり、今年3月の調査で稚魚を24匹確認することができました。また、ピワマスが遡上、産卵、生育できる川環境が保持されていることを示しています。

環境や地域への貢献

我々の活動が地域住民に認知されるようになり、ピワマスを観察する家族の増加、地域住民の川への関心の高まり、川をきれいにするゴミ拾い活動へとつながっています。また、ピワマスフォーラムへの参加者の幅が広がり、市内外の人々が我々の活動に関心を示すようになってきました。

助成金が活きたと思う点

産官学との協働による活動が順調に進んでいる背景には、助成金が大きく寄与しています。具体的には、専門家による現地指導や地元住民のピワマス監視活動へのお礼、川仕事への多くの参加協力者への昼食の提供などが挙げられます。また、ピワマスフォーラムの報告冊子や広報チラシの作成に活用することができました。

野洲川北流跡自然の森創生プロジェクト

やす緑のひろば

活動場所 滋賀県野洲市市三宅 野洲川北流跡自然の森
所在地 滋賀県野洲市久野部 125-13
設立年 2011年
会員数 40名
連絡先 〒520-2353 滋賀県野洲市久野部 125-13
代表 熊本正幸、077-586-0107、HP 



夏原グラントで実施した事業の紹介

30年程人手が入らず荒廃していた野洲川河辺の竹林を生き物にもやさしい自然豊かな樹木中心の森に創成するため、竹伐採など整備しています。竹を伐採したエリアでは実生のケヤキ、クヌギ、コナラなどの自然植生の若木に支柱を立て、その下草刈りを行い保護・育成しています。市街地からも近く、地域の子もたちがカブトムシ採りや森の探検など容易に自然に親しめる里山として、次世代に引き継ぐことを目指しています。

環境や地域への貢献

森の整備が進み、散策に訪れる地域の皆さんが増え、近隣の保育園、幼稚園の園児たちの野外散歩にも活用されるようになりました。地元の北野小学校3年生の森の探検、そしてカブトムシ幼虫観察など自然及び環境教育の場としての活用も定着。また初夏には森の中のタケノコ探索、昆虫観察会、さらに秋には竹飯や竹細工なども楽しむイベントと、主に子供たち対象で自然に親しむ機会を提供して好評を得ています。

助成金が活きたと思う点

燃料、替え刃など消耗品は勿論、自走式草刈り機も入手でき、作業が効率化できました。また、イベント資材の調達にも活用し、元気に活動を継続できました。

水遊び体験を取り戻す —子どもは川の子プロジェクト—

特定非営利活動法人

子どもと川とまちのフォーラム

活動場所 琵琶湖・内湖 (滋賀県大津市)、山科川・鴨川・淀川 (京都府京都市)、木津川 (三重県伊賀市)
所在地 〒612-8522 京都府京都市伏見区深草藤森町1
京都教育大学 産業技術科学科 土屋英男 気付
設立年 1999年
会員数 大人20名 (理事等)、子ども73名 (登録会員数)
連絡先 075(644)8329、tsuchiya@kyokyo-u.ac.jp、HP 



夏原グラントで実施した事業の紹介

本フォーラムが今年度で実施した活動の中に「ガサガサ探検隊」というイベントがあります。山科区を流れる山科川と旧安祥寺川の合流地点で定点観測的に毎年行っている魚つかみ遊びで、今年で5年目となります。二つの川とも町中を流れているのですが、生き物がたくさん棲んでいて、それぞれの川の水温や汚れの違いがよくわかる面白い場所です。今年の特記事項は、子ども達がブラックバスとアカミミガメを捕まえたこと、誰かが放流したと思われる小さな金魚がたくさん獲れたことでしょうか。

環境や地域への貢献

今年は遊んだ後にごみ拾いも行ってみました。最後の振り返りの時間には、外来種や金魚がいた理由、色々なごみが捨てられていた理由などについて話し合いました。子ども達なりに一生懸命考え、多くのことをこの日の活動から感じ取ってもらえたと思います。

助成金が活きたと思う点

夏原グラントから助成を受けたことで、子ども達の安全を確保するために、また遊びのリーダーとして十分な人数の大学生を雇用することができました。

伏見稲荷大社 理想の森づくり

特定非営利活動法人

社叢学会

活動場所 全国 (関東・中部・福岡県に支部を設置)
所在地 京都府京都市中京区雁金町373番地みよいビル303
設立年 2002年
会員数 410人・団体
連絡先 075-212-2973、shasou@ams.odn.ne.jp
HP  Facebook 



夏原グラントで実施した事業の紹介

鎮守の森などの保全育成活動に取り組んでいる当会は、2008年から伏見稲荷大社の裏山の一角で、理想の森づくりの一環としてイチイガシ林の育成を行っています。今年度の主な事業は、7月と10月にイチイガシ生息地周辺の除草、日照確保のための枝伐り、生息状況の測定等を実施しました。また新たに地元市民団体と連携して、伏見稲荷大社南に位置する大岩神社の社叢調査も行いました。

環境や地域への貢献

イチイガシは順調に育っており、やがて、イチイガシ林として、地域を代表する森林となることを期待しています。京都府や滋賀県下のナラ枯れ等の後継森林のひとつのモデルとなると考えています。また大岩神社社叢育成の取り組みは、地域の観光振興等にも役立ちます。

助成金が活きたと思う点

理想の森づくり事業を計画的に行うことができた他、今までの活動の中間的なまとめと、現地関係者への報告等ができました。また当会の人材育成にもつながりました。

協働によるふるさとの自然環境保全を図るための

基礎資料調査

エコパートナーシップうじたわら

活動場所 京都府綴喜郡宇治田原町
所在地 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10
設立年 2004年
会員数 117名
HP  Facebook 



夏原グラントで実施した事業の紹介

宇治田原町は町域の約8割を森林が占める自然豊かな町ですが、今後の開発と調和を図るため、町内の野生生物や地質の状況を調べ、今後の環境保全のための基礎資料を整備する活動を始めました。

活動は団体のメンバーだけでなく、大人から子どもまで幅広い方の参加を得ることで、ふるさとの自然環境について認識を新たにしてもらうため、環境学習やハイキングを兼ねて実施しました。

環境や地域への貢献

2017年は独自の調査活動にも力を入れ、町内で身近にありながら注目されることがない、「銘木」候補を調査しました。その結果、将来にわたり保存すべき銘木候補が見つかりました。

助成金が活きたと思う点

調査活動で記録した生物等を同定するための図鑑類等の資料を助成金で購入することができました。また、年間を通じて発行する会報誌で活動状況を広く広報することができました。

21世紀の「鹿背山ものがたり」をつくろう

～里山と都市の好循環を目指して

鹿背山元気プロジェクト

活動場所 京都府
所在地 木津川市鹿背山鹿曲田65 西念寺内
設立年 2006年
会員数 30名
連絡先 kanosato2013@gmail.com、HP 

夏原グラントで実施した事業の紹介

地元の美術家が講師となって里山の中でアートスクールを開き、風景の中に作品を展示しました。

その作品をまとめた里山の自然と歴史と景観を紹介する絵本「生きものや神さまと遊ぶ里山」を制作するのに、夏原グラントを活用しました。

環境や地域への貢献

絵本は鹿背山ものがたり3部作の第2作目で、「里山と循環するまちづくり」のイメージをソフトに表現し、こどもから大人までが楽しめるように心がけました。ニュータウンの人口が増える中で、里山を核に地域のアイデンティティが形成されればと考えています。

このほか、小学校と連携して総合学習で里山について考え、里山の木や土を校庭のビオトープに移す活動をしています。

助成金が活かしたと思う点

「鹿背山（かせやま）」は万葉集にも登場する歴史ある地名ですが、新しい住民にはなじみがなく読み方すら知られていません。地元の美術家が心を込めて作った絵本が、立派な装丁で出せて、身近な里山の存在と価値をこどもたちにも広めることができました。



1年目団体の交流会



8月25日、夏原グラント2017年度一般助成1年目団体の交流会を開催しました。

活動分野によってグループを分け、事前にアンケートで聞いておいた各団体の課題について意見を交換してもらいます。新規の事業で採択されたベテラン団体も、今回初めて助成事業に取り組んでいる団体も同じテーブルに着いて意見交換を行いました。課題解決のために参考になるエピソードなどで盛り上がりました。

参加者からは「今日はいいいお話が聞けました。来て、本当によかった！」との言葉が聞けました。

ロゴマークとリンクバナー



←夏原グラントのロゴマークです。「夏」の文字をデザインし、オレンジ色で元気を表現しています。採択された事業のチラシや購入品にはこれを表示していただいています。



←採択団体には夏原グラントサイトへのリンクをお願いしています。その時使っていただくリンクバナーです。

余呉湖周辺の保全・緑化の推進 余呉地域づくり協議会

活動場所 滋賀県長浜市余呉町川並 余呉湖東側周辺
 所在地 滋賀県長浜市余呉町中之郷 1159
 設立年 2011年
 会員数 84人
 連絡先 余呉町下余呉 1338 余呉湖観光館事務所
 TEL:0749-86-8037, FAX0749-86-8047 HP



夏原グラントで実施した事業の紹介

余呉湖の自然環境を守り継承していくことを目的に余呉湖周辺に群生する古来植物「サワオグルマ」の保存活動を今年度も実施しました。台風での倒木など被害がありましたが参加者に協力いただき、もともと群生地を復旧することができました。また、自然とのふれあいを通じて自然の大切さを学んでいただくため、「虫を楽しむ夕べ」や「余呉湖ナイトウォーク」を開催しました。親子での参加など多くの方に参加していただくことができ、広く環境保護への啓発ができました。

環境や地域への貢献

これらの活動により、余呉湖周辺の景観を向上することができました。山野草の保護活動は、荒廃地化の防止と里山の保全への啓発につながるものと考えています。また、自然ふれあいイベントにより自然保護の大切さを広く発信することができました。

助成金が活きたと思う点

余呉湖から地域を元気づける取組みとして、環境保全をテーマにした今回の活動に3年に渡り助成支援をいただき実施できたことで、地域の方々へ目に見える形で環境保護を啓発することができました。また組織の継承により「余呉地域づくり協議会」の重要事業として今後も一層取組みを推進することが可能となりました。

松尾寺山の里山整備活用事業 松尾寺山登山道保存会

活動場所 滋賀県米原市上丹生 2007 番地 周辺
 所在地 滋賀県米原市醒井 605 番地
 設立年 2009年4月
 会員数 約10名
 連絡先 0749-54-0120 (夜間 0002)



夏原グラントで実施した事業の紹介

主な活動エリアとして松尾寺山は、松尾寺遺跡群が県史跡に認定され、地域資源に認められた建築物を有する魅力的な山です。昔から小学生の遠足など実施されてきましたが、数年前までは、山は荒れ、道の補修が必要とされる場所が何か所もある状態でした。地道に補修保全作業を続けてきましたが、資金、人員不足のため大きな補修などできず、歯がゆい思いも。3年前より夏原グラントの助成をいただきながら、少しずつ山道の補修並びにトレッキングルートを作成、MAPの作製、配布等イベントや広報にも力を入れてきました。

環境や地域への貢献

教育委員会、商工会、地域活動団体の協力を得て、以前よりトレッキングイベントの回数も増え「山を楽しく安全に歩く」をテーマに活動できたことを誇りに思っております。ただ9・10月の台風被害の影響で、予定事業や計画が一部できず残念であり自然の脅威を感じました。また、最近では県外の中学生の民泊事業にも参画し、自然豊かな山に親しんでもらえるよう軽い登山をはじめ清掃作業等を実施しています。

助成金が活きたと思う点

試行錯誤しながら、日常では味わえない、山の面白さ、自然を感じれる取組みが及ばずながら体験してもらえたのではないかと思います。今後会の発展と共に地道な活動を継続していけるよう努めていきます。

里山保全・整備活動 総山管理委員会

活動場所 滋賀県彦根市石寺町地先 「荒神山」
 所在地 滋賀県彦根市石寺町 1223
 設立年 2011年 (前団体の荒神山山王会の設立は、2002年)
 会員数 15名
 連絡先 090-5886-4222
 n-tokio@mx.biwa.ne.jp (西川時男)



夏原グラントで実施した事業の紹介

石寺総山は、昔は燃料・普請用材・食用等として大いに活用されていましたが、生活様式の変化に伴い総山は放置され雑木が繁茂し、加えて松枯れ等により近年荒廃が著しく進んでいました。2002年より里山再生を目指して少しずつ活動を行ってききましたが、数年前より松枯れが大量に発生したため、2014年より松枯れ木伐倒を主体に里山保全・整備活動を展開してきました。今年度は、あの薫り高い松茸復活を目指して赤松密集地区の皆伐(中・低木伐倒、下草刈り、地掻き等)にも注力し、約70m実施できました。

環境や地域への貢献

4年間で松枯れ木約400本伐倒し、景観保全・森林保全に寄与し、また伐倒した樹木の一部は、薪ボイラー等に使用して資源の活用も行っています。昨年より近隣小学校の子どもに椎茸栽培体験を実施し、自然・生き物を大切に作る心の醸成も図りつつあります。

助成金が活きたと思う点

保全・整備作業に必要な備品・原料・燃料等を調達でき、活動を継続することができました。また、必要な技術・知識についても、専門家より指導を受けることができました。

日本百名城「観音寺城石垣」整備プロジェクト 近江八幡市豊かな杜づくり隊

活動場所 近江八幡市安土町きぬがさ山観音寺城跡周辺
 所在地 滋賀県近江八幡市安土町常楽寺 323 木野和也
 設立年 2011年
 会員数 13名
 連絡先 0748-46-2755 kaz_kino6@yahoo.co.jp

夏原グラントで実施した事業の紹介

観音寺城整備活動プロジェクトの3年目が終わりました。1年目は、「観音寺城の古道整備」。2年目は「新幹線から石垣が見えるプロジェクト」、3年目は、「観音寺城の古道の植樹活動と城跡の案内版設置」でした。

環境や地域への貢献

本年度は、昨年度の古道の桜・紅葉植樹活と合わせて、枯損木の撤去や、古道周辺の雑木や道の修復を継続してやりました。特に、十数年後のロマンとして、観音寺城の頂上へ行く古道、追手道の両脇に200本の紅葉を植え、大石垣周辺に20本の桜の植樹ができたことは成果です。この道を、地元小学校6年、中学校が「ふるさと学」で体験してくれたことはよかったです。

「助成金が活きたと思う点」

本年度は、「観音寺城跡の案内看板」を設置でき、訪れた方々が、案内版の地図をスマホに撮られ良くわかるという声を聞くにつけよかったです。今後は、老蘇学区まちづくり協議会や地元石寺と協力して、ぼちぼちやろうと思います。



未来のびわ湖人育成のための学習支援事業 滋賀大学「環境学習支援士」会

活動場所 滋賀県内
 所在地 滋賀県大津市平津 2丁目 5-1
 (滋賀大学教育学部内 425号室)
 設立年 2008年4月20日
 会員数 36名
 連絡先 FAX: 007-537-7821、shienishikai@yahoo.co.jp
 HP 

夏原グラントで実施した事業の紹介

私たちの事業は、持続可能なびわ湖の豊かな自然を愛し、びわ湖の環境を学び、次の世代に残していくために、自分で考えて行動する未来のびわ湖人として成長していくことを期待して学校を支援しています。

環境や地域への貢献

3年間で「うみのこ」体験学習の事前・事後の学習を、大津、彦根、草津、栗東、近江八幡、野洲、東近江、守山、湖南市立小学校の45校・延べ50回・児童数4,300名に実施しました。事業を通して、県立フローティングスクールとの交流・広報活動へ発展しています。夏休み川の学校の取組は、栗東市との共催に発展し地域への波及効果が期待できます。「未来のびわ湖人育成の学習支援事業」のニーズは大きなものがあることが分かります。

助成金が活きたと思う点

びわ湖の現状や将来を自ら考える児童が増えていました。出前授業をうけた児童たちや「うみのこ」乗船後に、びわ湖が好きになったとアンケートで回答している児童が増えていました。助成金が活きたと感謝しています。びわ湖を「支える」活動を進めています。



ぼてじゃこトラスト次世代人材育成事業 ぼてじゃこトラスト

活動場所 滋賀県全域
 所在地 滋賀県大津市鶴の里 23-6 武田繁方
 設立年 1996年
 会員数 72家族 160名
 連絡先 090-3841-4807、bote1112@zeus.eonet.ne.jp
 (武田) HP  Facebook 

夏原グラントで実施した事業の紹介

念願のイチモンジタナゴ復元放流は専門家の合意形成と滋賀県の移殖許可が得られ、県内2カ所で放流が実現し、市民発、琵琶湖再生、雑魚復活の先見事例となりました。ワンバク塾の活動は、県内各地での地引網体験、雑魚捕り、虫探し、サツマイモ収穫祭など多彩な企画で「楽しく遊び、学ぶ自然体験」が人気高く口コミで会員が増加し盛況です。また、各部門のスタッフも育ち、安定した運営が可能となつています。

環境や地域への貢献

優秀な子ども達は、タナゴミニ実験や生き物調査など研究発表の場がプラスされ、淡海こどもエコクラブ3年連続奨励賞受賞、びわこ大使に任命(小笠蓮太郎君)されるなど子どもリーダーが育っています。「滋賀の魚つかみ文化を次世代に残す!」、「地域の環境は地域の人を守る」との当会の基本理念が、当会や支援活動参加者に伝わり啓発に役立っていると自負しています。

助成金が活きたと思う点

最後に、当会がレベル高く活動を維持しているのは、20周年記念事業支援、観察会・調査用道具(胴長、タモ網等)の購入やタナゴ繁殖池の整備費などに助成してもらっているお陰です。本当に感謝しています。



* HP Facebook Twitter : 団体としてサイトやアカウントを持っている印 (団体名で検索)

びわ湖流域赤シソ栽培ネットワーク事業 “Team Hira Perilla” 一般社団法人 比良里山クラブ

活動場所 滋賀県大津市南比良、まほろばの里
所在地 滋賀県大津市横木 2-25-12
設立年 2009年
会員数 7人
連絡先 info@hira-satoyama.net、077-527-2833
HP Facebook



夏原グラントで実施した事業の紹介

獣害問題を抱える山間農地で、赤シソ栽培に取り組む複数団体をネットワーク化し、遊休農地拡大に歯止めをかけ、里山環境を保全することを目的とした事業(3年目)です。当会が事務局となり、SNSを活用した情報交換、各地区の視察や栽培指導を行いました。4~6月播種・育苗の実習や講習会。7月収穫・選別作業。(収穫した葉を仕入れて製品に加工)3月全体報告会を実施しました。

環境や地域への貢献

過去2年間の参加団体に共通した点は、中山間地域の農地活用に取り組んでいる点でしたが、地域福祉関連の団体が加わったのが今回の特徴です。耕作を諦めていた農地で赤シソ栽培を続け、害獣の行動範囲が制約された地区が県内にまた増えました。農地を含む里山の荒廃化にブレーキをかけられるものは、人の介入に他ならないという気づきを改めて共有することができたと思います。

助成金が活きたと思う点

ハード面では、古い温室を修繕改装したことで快適な選別作業場が完成し、団体受け入れや各セミナーなどにも活用できるスペースが確保できました。ソフト面では、メディアに露出する機会が増え、県外からの問い合わせ、行政や福祉分野との連携も強まり、関わる人たちの環境保全への意識向上に役立っています。

未来に続く生物多様性の森育成事業 びわ湖りす森倶楽部

活動場所 滋賀県高島市
所在地 滋賀県大津市千石台 10-10
設立年 2010年11月1日
会員数 35名
連絡先 080-1467-0419 (金子)
biwakonomori@risumori.net
HP Facebook



夏原グラントで実施した事業の紹介

私たちは年6回の定例会(3月、4月、5月、9月、10月、11月の第4日曜日)の他様々なイベント等を行い楽しく活動しています。「未来に続く生物多様性の森育成事業」では、森に暮らす多くの生物や植物と人との関わりを感じてもらい、親子で環境教育について学べるプログラムを考え実施しました。森林や里山を活かしたイベント体験には家族連れで参加された方や会員の方は年間で100人以上になりました。様々な森に暮らす動植物との関わりや森を自分たちの手で活かし守るという取り組み、関わりになった他団体や仲間たちとの出会いや活動が、大きな輪になり環境保全活動を行っています

環境や地域への貢献

松枯れで荒廃していた森の再生は、私たちの努力や多くの植樹により次世代に引き継ぐことが可能な健全な森へと甦りました。また、地域で同じく活動する団体との連携で地域のネットワークもでき、過疎化が進む中山間地での情報発信に繋がっています。

「助成金が活きたと思う点」

3年間の助成を受けてきたことで、多くの人々に環境教育を学び実践し体験してもらえました。未来に続く生物多様性の森づくりは、琵琶湖水源林を守る人の人材育成や環境保全等多様に拡がり、大変感謝しています。

森林・林業の多角的な体験・学習を通じた人材育成 特定非営利活動法人 京都・森と住まい百年の会

活動場所 京都府京都市右京区、中京区、北区雲ヶ畑など
所在地 京都市中京区寺町二条下ル榎木町 98-7
設立年 2004年
会員数 80名
連絡先 HP Facebook Twitter

夏原グラントで実施した事業の紹介

NPO法人京都・森と住まい百年の会では、助成を受けて地域に密着した勉強会と全国的な視野を身につけるシンポジウムという2つの事業を実施しました。

環境や地域への貢献

当会の活動は、座学による人材育成がメインで、活動場所をどこかに設定し、会員などが環境改善活動を直接進めているわけではありません。しかし、様々なイベントを通じて林業関連の人との交流をはかり、一般市民や学生の関心度を高めることを意図とした活動を続けてきました。事務局メンバーの学生が旧来多かった公務員のみならず、林業関連の民間企業での勤務を始めるなど、様々な方面で今後とも活躍してくれると信じています。

助成金が活きたと思う点

シンポジウムは、京都駅付近の会場で府内外から演者を招いて行うため、多くの人に呼びかける必要があります。その点で、広報用のチラシ作成や印刷において助成金は大いに役立ちました。今回も講師謝礼や交通・宿泊費などを演者にお支払いすることができ、参加者の方々も満足していただけるようなイベントになったと考えています。



鴨川生き物調査

特定非営利活動法人

ビオトープネットワーク京都

活動場所 京都府京都市伏見区深草勧進橋町の鴨川 他
所在地 京都府京都市中京区壬生森町 13-34
設立年 2004年1月（法人格取得日）
会員数 65名
連絡先 080-4974-1270、bionet_kyoto@yahoo.co.jp
HP  Facebook 

夏原グラントで実施した事業の紹介

鴨川を中心にビオトープの角度から生物調査や水質調査などを行い、生物多様性や外来種問題などについて考えております。夏には、街中に住むお子さん達などを対象とした水辺の環境教育を実施し、身近な自然を体験してもらっております。今年度は、終了しました近畿子どもの水辺交流会の後を受け開かれた、京都子ども水辺交流会に団体協力しました。

環境や地域への貢献

京都市環境課から生物多様性の事業協力依頼を受けて、山科の小学生を対象に授業を行い、また、伏見いきいき市民活動センターの依頼で街中の二層河川の七瀬川の環境の在り方についても現地でも講義を行うなど、地域活動に協力することができました。

助成金が活きたと思う点

3年間の助成で団体や学生、行政との繋がりを大きく広げることができました。特に、昨年度末に助成金で作成しました「鴨川の生き物たち」が、京都新聞に掲載後大きな反響を得て、個人を始め、教育関係、行政事務所などへの冊子を納付し、中にはイベントに参加いただいた方もいました。また、ケーブルテレビの取材を受けることもありました。



遊休・休耕農地や放置森林等の再生・管理事業

特定非営利活動法人

オーガニック土の塾

活動場所 京都府宇治市東笠取
所在地 京都府宇治市木幡南山 12 番地の 52
設立年 1914 年
会員数 10 名
連絡先 090-7491-5504、organic.tuti@gmail.com
HP  Facebook 

夏原グラントで実施した事業の紹介

私たちの事業は『遊休・休耕農地や放置森林等の再生・管理事業』です。環境保全→不耕作地の再利用・再活用→農地法許可→一般市民の継続的な参加→インフラ整備・獣害防止・駆除→キーワード：食の安心安全・オーガニック・健康・自産自消・古の食文化・人の流入のサイクルを実施しています。

「環境や地域への貢献」

東笠取農場で約 10 反の不耕作地・放置茶畑の再利用を行っています。西京区大原野では約 3 反の放置竹の子畑を、古来の京都式軟化栽培で再生させています。また、東笠取では近隣の間伐整備を行い、有害獣の生育域を後退させ、狩猟登録や有害獣捕獲許可を受け、地元農家と協働で 12 頭の鹿を駆除し地域の安全安心に貢献しています。

助成金が活きたと思う点

有害獣駆除やジビエ調理加工教室等の経費を助成していただき大変助かりました。有害獣・ジビエに対する認知度も上がってきており、特に女性の参加が 10 名以上に増えてきました。

有害獣に対しても毎年続く戦いですが、参加者が増えると効率も上がり感謝しています。



西山古道の自然環境保全に関する実践活動

特定非営利活動法人

京おとくに・街おこしネットワーク

活動場所 京都府西山地域
所在地 京都府長岡京市神足 2-3-1 バンビオ 1 番館
設立年 2008 年
会員数 40 名
連絡先 090-5165-8405、nisiyama 3zan@yahoo.co.jp
HP 

夏原グラントで実施した事業の紹介

自然が魅力西山古道の最大の橋である「十人橋」は、10 年前に架橋したが老朽化し、安心して渡れる橋造りが最大の課題でした。会員の英知を絞り、現地まで何度も資材を担いで運び、単管パイプやパイプ連結金具を駆使して、十人渡っても大丈夫な橋を完成し、ハイカーの安心を守ることができました。

環境や地域への貢献

西山古道の整備を定期的に続け、JR 京都駅の「京なび」にチラシを配架、古道を歩く人は年々増加し、拠点の寺社でも植樹活動が活発化、民間独自の活動として定着化しました。陽光桜は 8 年間植樹を続け、本年で 400 本を超え、桜の新たな観光地となりました。

助成金が活きたと思う点

念願の十人橋の架け替え工事を完了し、安心して橋を渡れ、一段と西山古道の魅力が増えました。自然環境を満喫しながら歩く気持ちよさを、ハイカーにより感じてもらえます。



* HP Facebook Twitter : 団体としてサイトやアカウントを持っている印 (団体名で検索)

いかに乗ってみよう～山・川・まちのつながりの再生～ 特定非営利活動法人
プロジェクト保津川

活動場所 京都府亀岡市を中心とした保津川(桂川流域)
所在地 京都府亀岡市追分町谷筋 37-21 ふらっと HOUSE
設立年 2007年
会員数 67名
連絡先 0771-20-2569、info@hozugawa.org
HP Facebook Twitter



夏原グラントで実施した事業の紹介

京の都をささえてきた保津川水運のさきがけ、保津川の筏復活プロジェクトは、2008年に始まって以来、元筏士の古老への聞き取り調査や筏にまつわる周辺技術の記録など、一歩ずつ歩みを進めてきました。そして節目となる10年目を迎えた今年度は、かつての筏流しの終着点であった京都・嵐山に、半世紀ぶりとなる12連の大筏を甦らせることができました。

環境や地域への貢献

この大筏の再現にあたっては、私たちの活動拠点である京都府亀岡市だけではなく、上流の筏流しの出発地であった京都市右京区京北地区のみなさんからも、材木をご提供いただいたり、終着点の嵐山周辺のみなさんからもご寄付や人的な面でのご支援も多くいただきするなど、今までにない上・下流のつながりを生み出すことができました。

助成金が活きたと思う点

水源地域の大切な森林は、林業の不振や高齢化・過疎化の急速な進展にともない、荒廃が進んでいます。伝統文化としての筏流しの復活という新たな価値を生み出そうという挑戦は、少しずつ認知も広まり、いくつかの企業から材木の利活用についてのご提案をいただくまでに至りました。一度失われた文化や技術の復活には、私たちも予想もなかった途方もない時間と人手がかかります。そうした中で、長年に渡る夏原グラントのご支援は、単なる助成金にとどまらず、次のステップへと歩みを進めるためにさまざまなご助言もいただきました。

山門水源の森の 山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会
生物多様性の保全と獣害対策

活動場所 滋賀県長浜市西浅井町山門
所在地 滋賀県大津市穴太 3-15-18
設立年 2001年
会員数 132名
連絡先 090-3487-0941、hide-n-c@mui.biglobe.ne.jp
HP



夏原グラントで実施した事業の紹介

①シカの食害防止柵の設置②防止柵の有無による植生の再生の違いを把握するための植生調査③GPSを使ったシカの行動パターンの調査この成果として絶滅寸前の希少種を再生することができました。

④組織強化と専従職員確保

広い面積の森の多様性を保全するためには日々の巡視をはじめ保全作業を継続する必要があるが、各地の保全団体や夏原グラント事務局の助言を得て計画どおり活動できる目途がたちました。

環境や地域への貢献

山門水源の森での食害の程度の把握ができた段階で、滋賀県内の他の山地の状況を調査しその対策の必要性と将来被害の増大について各地で報告しました。その結果視察団体も増え、他地域でも対応が始まりました。

助成金が活きたと思う点

年々拡大するシカの食害で生物多様性が失われてゆくのを呆然と見るしかなかったのですが、本助成を得ることで防獣ネットの設置及びその効果が確認でき、絶滅寸前の生物の再生が果たせつつあります。また組織強化においても実行性のある見通しが立てられました。

表紙・裏表紙の写真の説明

本報告書では、助成団体の皆さんから届いた画像の一部を表紙と裏表紙に掲載しています。紹介したページも掲載していますので、詳しい活動内容は本文をご覧ください。

■表紙

①	②	③
④	⑤	⑥

- ① 里山保全活動／富之郷里山クラブ…………… P.6
- ② 野生傷病鳥獣の救護追跡事業／放鳥's …… P.9
- ③ 京都・美山千年の川プロジェクト／特定非営利活動法人 芦生自然学校 …… P.9
- ④ 市民共同発電所「おひさま発電所」設置施設と共に進める環境学習／認定特定非営利活動法人 きょうとグリーンファンド…………… P.10
- ⑤ いかに乗ってみよう～山・川・まちのつながり／プロジェクト保津川…………… P.20
- ⑥ 太陽熱回収用へどろヒートポンプの開発／認定特定非営利活動法人 ブルーシー阿蘇…………… P.9

■裏表紙

⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫

- ⑦ 北山保全活動／NPO 法人国際ボランティア学生協会 IVUSA 京都 …… P.10
- ⑧ 竹の魅力発信基地の創設／特定非営利活動法人 加茂女…………… P.11
- ⑨ 里山の保全と遊歩道の維持管理／かぶと山を守る会…………… P.6
- ⑩ 京都縦貫自動車道西代防災基地の緑化活動／乙訓の自然を守る会…………… P.11
- ⑪ 遊休・休耕農地や放置森林等の再生・管理事業／特定非営利活動法人オーガニック土の塾…………… P.19
- ⑫ 蛇砂川をきれいにし、ホタルの増殖とホンモロコの遡上・育成を促進する事業／金田学区まちづくり協議会…………… P.7

表彰された団体の紹介

採択事業団体の中で2017年度に表彰されたことがあるかどうかを尋ね、回答があった団体のご紹介をします。

表彰以外にも地元から感謝をされたことなどのご報告もいただきました。来年度も皆様の環境保全活動のますますのご活躍を期待いたします。

(1) 受賞年月 (2) 主催団体名 (3) 評価された点

一般社団法人 比良里山クラブ



淡海ネットワークセンター大賞

- (1) 2017年9月23日
- (2) 淡海文化振興財団
- (3) 比良の里山の保全に取り組みながら、地域ブランドとなる赤シソジュースを製造販売し、10年間継続的かつ発展的にその商品を通じた環境保全活動を行っていることが評価されました。

ぼてじゃこトラスト



淡海こどもエコクラブ奨励賞

- (1) 2017年12月
- (2) 平和堂財団
- (3) ①「サツマイモ畑の生き物調べ」、②「イチモンジタナゴのタライ繁殖実験」、③エコ・環境活動を発表しました。
イチモンジタナゴ繁殖実験の質の高い研究と楽しく遊び学ぶ姿が評価されたと思います。

(2015年開催の20周年記念フォーラムでのタナゴ展示)

これ以外に表彰ではありませんが、会員の小埜蓮太郎くんが、2017年度ラムサールびわっこ大使に任命されました。

甲賀木の駅プロジェクト実行委員会



林野庁長官賞

- (1) 2018年2月28日
- (2) 全国林業研究グループ連絡協議会
- (3) 森林整備だけでなく地域活性化や森林環境学習、林福連携等活動が幅広く充実している点が評価されました。甲賀木の駅では、毎月1～2回福祉作業所利用者さんが薪割りをして甲賀木の駅が労賃を払っています。薪割りの時は会員の薪サポート班がいっしょに働くなど、地域通貨を通じてのご縁で福祉の分野との協力体制ができてきました。



主催

公益財団法人 **平和堂財団**
〒522-8511 滋賀県彦根市西今町1番地
(株)平和堂本部内
TEL:0749-23-4575 FAX:27-4180
ホームページ <http://heiwado-z.jp/>

運営事務局

認定特定非営利活動法人 **しがNPOセンター**
〒523-0893 滋賀県近江八幡市桜宮町207-3
K&Sビル3F
TEL:0748-34-3033 FAX:020-4664-3933
メール shiga.npo@gmail.com
ホームページ <http://shiganpo922.shiga-saku.net/>



この紙は「びわ湖の森を元気にする」kikitoペーパーを使用しています。